

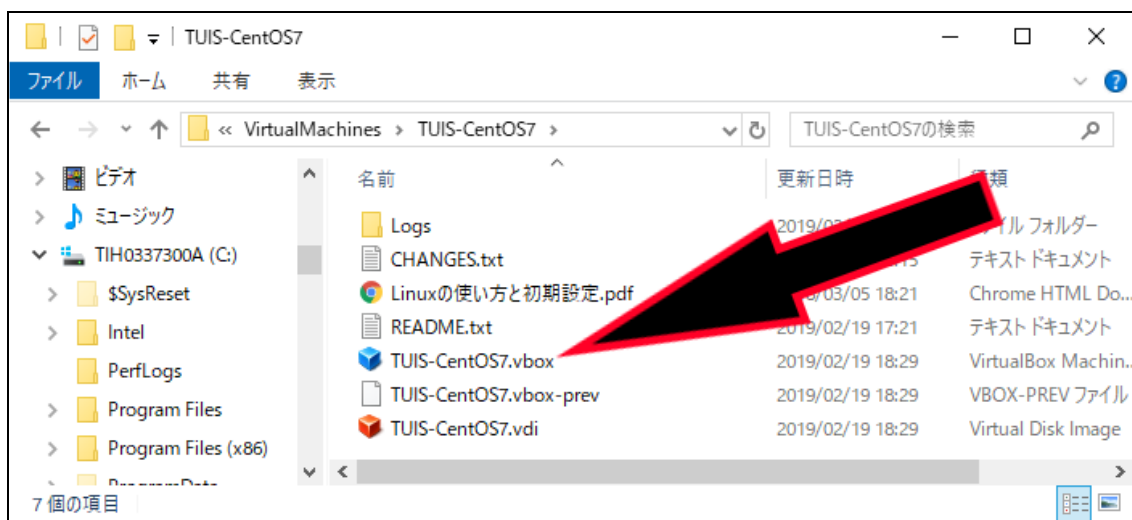
Linux の使い方と初期設定 (東京情報大学 VirtualBox 向け CentOS 編)

この文書は、東京情報大学の大学推奨仕様 PC に最初からインストールされている Linux の使い方と、最初に設定すべき内容について説明するものです。

大学推奨仕様でない PC でも使用できます。その場合、所定の圧縮ファイルをダウンロードし、展開してください(以下では展開先を C:\Virtual Machines\TUIS-CentOS7 を前提としています)。また、Oracle VirtualBox をインストールしてください(VirtualBox Extension Pack のインストールも必要です)。

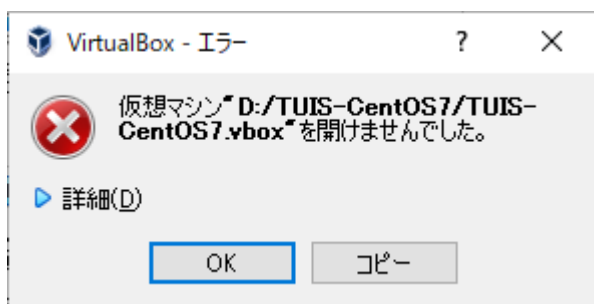
Linux の使い方

エクスプローラ等で、C ドライブの Virtual Machines フォルダを開き、その中の TUIS-CentOS7 フォルダを開きます。その中の、TUIS-CentOS7.vbox というファイルをダブルクリックして起動します。

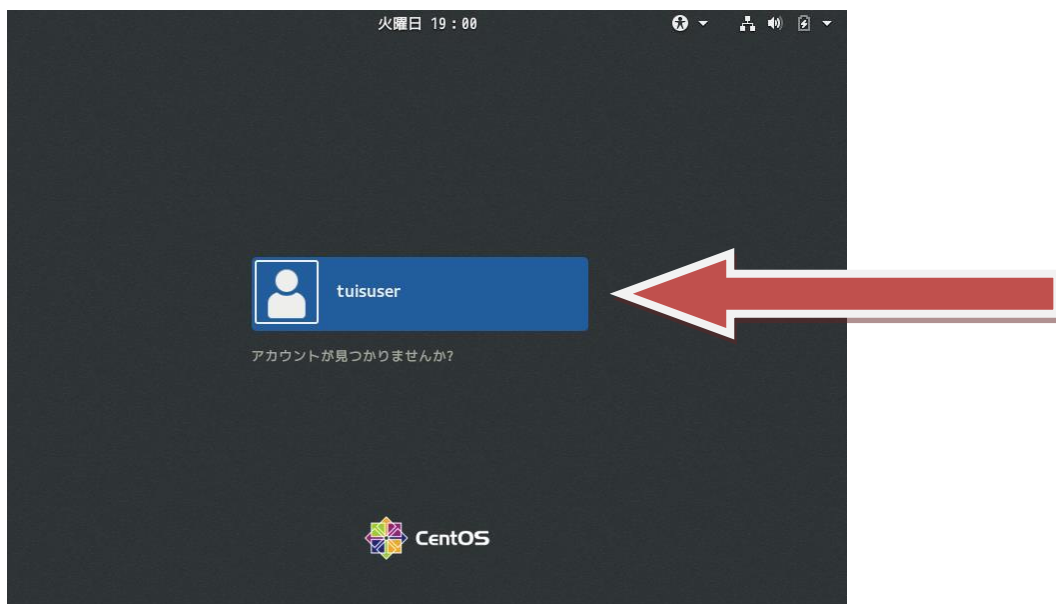


※エクスプローラで「拡張子を表示しない」設定にしている場合、.vbox が表示されていないので注意してください

※ この時、以下のようなウインドウが表示された場合は、VirtualBox で既に情報大仕様の CentOS7 を開いているため起動できません。その場合は、既に関いている仮想マシンを「除去」してください。



Linux が起動します。数十秒～1 分程度すると、以下のようなログイン画面になります。まず、「tuisuser」をクリックします。※最初のユーザ名は「tuisuser」です。




次にパスワードを入力します。※最初のパスワードは「tuis2019」です。



ユーザ名とパスワードが合っていれば、ログイン成功です。Linux の画面の解像度は、全画面で使用するが一番使いやすくなっています。全画面にするには、VirtualBox の「ビュー」メニューから「フルスクリーンモードに切り替える」を選んでください。

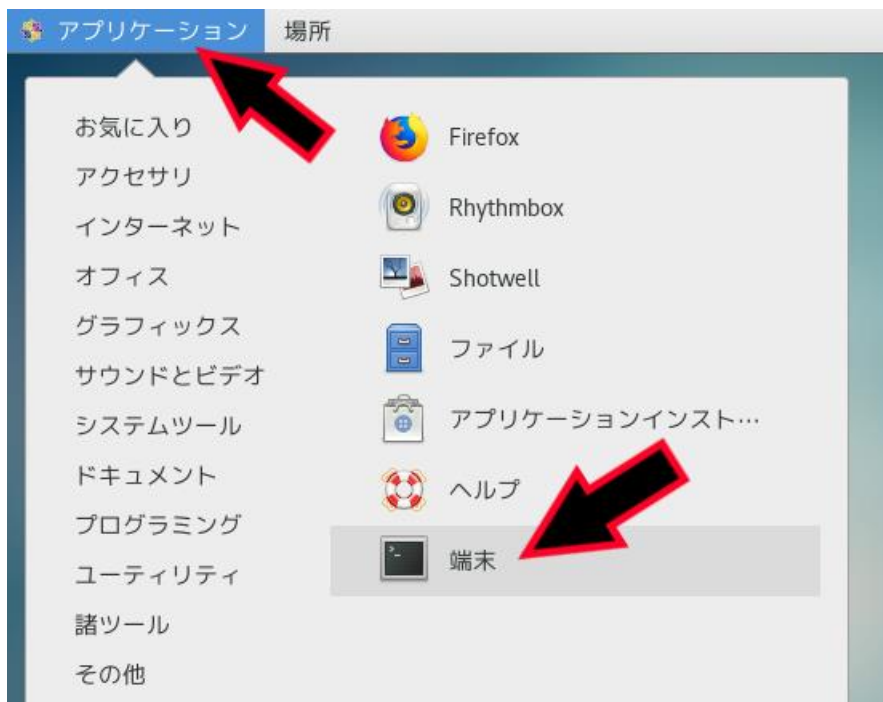
※ Windows の全画面ボタンを押しても全画面にならないので注意

※ 全画面を解除するには、画面中央の一番下にカーソルを移動するとバーが表示されるので、その中の  ボタンを押してください。

Linux の初期設定

最初の状態では、ユーザ名とパスワードが全員同じになっています。このため、そのままにしておくと、ネットワークを通じて他人があなたの Linux にログインし、勝手に使用する恐れがあります。必ずユーザ名とパスワードを変更してください。

ユーザ名とパスワードを変更するには、シェルにコマンドを入力して行います。まず、シェルを起動します。画面左上の「アプリケーション」をクリックし、「お気に入り」の中の「端末」をクリックしてください。



すると以下のようなシェル(端末)のウィンドウが開きます。ここに文字を打って **Linux** を操作します。



ユーザ名の変更

まず、ユーザ名を変更します。ユーザ名は、情報サービスセンターの自分のユーザ名と同じにします(例: j19999ab)。

最初に、Linux の管理者(root ユーザ)に切り替えます。su と打ち、Enter キーを押します。



パスワードを聞かれるので、root のパスワード (最初は tuis2019) を入力します。そして Enter キーを押す

ます。

※ パスワードを入力しても、画面に何も表示されないので注意してください！！

root への切り替えが成功すれば、以下のように表示されます。失敗した場合は、もういちど su を打つところからやり直してください。

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T)
[tuisuser@localhost ~]$ su
パスワード:
[root@localhost tuisuser]#
```

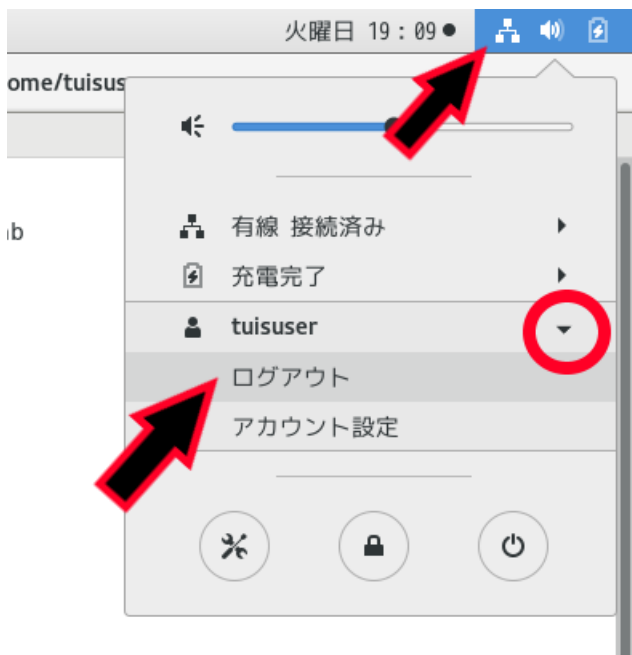
ここで、「chname tuisuser 新しいユーザ名」と入力し、Enter を押します。新しいユーザ名は、情報サービスセンターの自分のユーザ名にしてください(例 : j19999ab)。

※ chname と tuisuser の間、tuisuser と新しいユーザ名の間には、空白が一文字あることに注意！

ユーザ名の変更に成功したら、以下のようになります。

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[tuisuser@localhost ~]$ su
パスワード:
[root@localhost tuisuser]# chname tuisuser j19999ab
[root@localhost tuisuser]#
```

試しに新しいユーザ名でログインします。まず、ログアウトします。ログアウトするには、画面右上に並んでいるアイコン(時刻の右側)をクリックし、tuisuser の右にある▼をクリックし、「ログアウト」をクリックします。



ログイン画面になりますので、新しいユーザ名をクリックし、パスワード(まだ変更していないので tuis2019)を打ちます。

※ ログインできない場合は、ユーザ名が tuisuser のままになっている可能性があります。その場合は、ログインしてから再度ユーザ名の変更を行ってください。

パスワードの変更

シェルを起動し、passwd と打ち、Enter キーを押します。すると以下のようなになるので、現在のパスワード(つまり tuis2019)を打ちます。

※ パスワードを打っても何も表示されないことに注意！

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T)
[j19999ab@localhost ~]$ passwd
ユーザー j19999ab のパスワードを変更。
j19999ab 用にパスワードを変更中
現在の UNIX パスワード:
```

次に、自分で考えた新しいパスワードを打ち、Enter キーを押します。

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T)
[j19999ab@localhost ~]$ passwd
ユーザー j19999ab のパスワードを変更。
j19999ab 用にパスワードを変更中
現在の UNIX パスワード:
新しいパスワード:█
```

確認のため、新しいパスワードを再度打ち、Enter キーを押します。

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[j19999ab@localhost ~]$ passwd
ユーザー j19999ab のパスワードを変更。
j19999ab 用にパスワードを変更中
現在の UNIX パスワード:
新しいパスワード:
新しいパスワードを再入力してください:
```

パスワードの変更が成功すると、以下のように表示されます。

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[j19999ab@localhost ~]$ passwd
ユーザー j19999ab のパスワードを変更。
j19999ab 用にパスワードを変更中
現在の UNIX パスワード:
新しいパスワード:
新しいパスワードを再入力してください:
passwd: すべての認証トークンが正しく更新できました。
[j19999ab@localhost ~]$
```

注意点：パスワード入力中に打ち間違った場合は、変更を中止してください。中止するには、「CTRL」キーを押しながら「c」キーを押してください。

注意点：パスワードが適切でない場合は、エラーメッセージがでます。エラーが出ないような良いパスワードに

してください。以下にエラーの例を紹介します。

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[j19999ab@localhost ~]$ passwd
ユーザー j19999ab のパスワードを変更。
j19999ab 用にパスワードを変更中
現在の UNIX パスワード:
新しいパスワード:
よくないパスワード: このパスワードは辞書チェックに失敗しました。 - 異なる文字が十分に含まれていません
新しいパスワード:■
```

↑ パスワードが簡単すぎる

管理者(**root**)のパスワードも必ず変更してください。**root** のパスワードを変更するには、まず **su** コマンドで **root** に切り替えます(上記のユーザ名の変更を参照)。その後は、上と同様に **passwd** コマンドでパスワードの変更を行います。

パスワード変更の確認のため、一度ログアウトし、ログインし直してください。もちろん、新しいパスワードでログインします。**root** のパスワード確認は、ユーザ名に **root** と入力してログインするか、一度一般ユーザでログインした後に、シェル上で **su** コマンドを実行してください。